



1909年の創立以来、炎が創る生活の素晴らしさをお届けしています。

広島ガス CSR報告書 2011

▶ 発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献等のさまざまな社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年、一つの指標としてCSRの観点から企業を評価するなど、企業のCSR活動への注目は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度から当社の開示情報を環境分野と経営分野の両面から報告することを目的に本報告書を発行してきました。2003年度版からは、GRIのガイドライン^{*}を参考に新たに社会的側面も報告対象とし、2005年度版からは、社会分野を他のパートから独立して設け、「経営(経済)」「環境」「社会」の3分野で構成、標題も「CSR報告書」として発行しています。

2011年度版は、広島ガスグループの一層の発展に向けた取り組み、天然ガスの特性や各種ガス機器の環境効果、CSRへの社員一人ひとりの取り組みについて、巻頭特集として記載しています。

参考ガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」
- ・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」
- ※GRI: Global Reporting Initiativeの略。全世界で適用可能な報告書ガイドライン作成に取り組んでいる国際組織

主な対象範囲

広島ガス株式会社の2010年4月から2011年3月までの活動(経営・環境・社会)
 ※一部広島ガスグループおよび2011年度上期の活動を含む

広島ガスCSR報告書 2011 によせて



神戸大学大学院 経営学研究科
 こくぶ かつひこ
 國部 克彦 教授

広島ガスの2011年CSR報告書では、経営トップである田村社長が重視する「心・技・体」が強調されています。特集1では、「心・技・体」の具体的な活動を示されており、抽象的な経営理念ではなく、実際の活動に落とし込むことは高く評価することができます。

また、東日本大震災後の日本で喫緊の課題であるエネルギー政策や安心・安全に向けた取り組みについて詳細に開示していることも特筆に値します。天然ガスを中心とするエネルギーの安定供給と環境負荷削減は、今後の日本のエネルギー政策全体に影響を与えるものであるため、広島ガスの経営方針に

ます注目が集まると思います。

社会分野についても地域振興を中心に熱心に活動を展開されています。社会的責任については、2010年にISO26000が発行されましたので、その内容も参考にされながら、さらに活動を促進していただきたいと考えます。

広島ガスの特徴は地域密着型の企業ということですが、産業界のグローバル化がいくらか進行しても、それを支える地域がしっかりしなければ、経済は発展しません。しかも、エネルギー供給という重要な役割を担っておられるので、その社会的使命を着実に実行されるよう発展されることを期待します。

Contents

目次・発行にあたって	1
CSRへの取り組み(基本的な考え方)	2
TOP MESSAGE	3
【巻頭特集】	
「広島ガスグループの「心・技・体」の充実に向けた取り組み」	5
「天然ガスで環境負荷低減」	7
「CSRへの一人ひとりの取り組み」	9

経営分野

都市ガス事業フロー、広島ガスの供給エリアと体制	11
お客様の安心・安全に向けた取り組み	13
都市ガス事業	15
都市ガスの安定供給への取り組み	16
広島ガスグループの経営体制	17
2011年度事業計画の概要(中期経営計画含む)	19
業績概要(連結)	21
業績概要(単体)	22

環境分野

環境保全活動の基本的な考え方	23
環境目標および実績	25
環境会計	26
事業活動における環境負荷(2010年度実績)	27
お客様先での環境負荷の低減	29
事業活動における環境負荷の低減	31
地域環境保全への貢献	33
環境活動の歩み	35
環境データ	36

社会分野

地域社会との関わり(芸術・文化、地域、スポーツ振興)	37
地域社会との関わり(次世代教育への取り組み)	39
従業員との関わり	41
情報発信・コミュニケーション	43

広島ガスの概要	45
広島ガスグループの概要	46

本報告書の記載項目のうち、関連するページおよび広島ガスホームページにも掲載されている事項を、下記のように表記しておりますのでご参照ください。



詳しくは * のページをご参照ください。



詳しくは広島ガスホームページをご参照ください。